

JSLバンドスケール・ワークショップ —児童生徒のことばの力をどう把握し、実践をデザインするか—

「日本語を第一言語としない子どもたち」(JSL 児童生徒)を私たちはどのように理解したらよいでしょうか。JSL バンドスケールとは、JSL 児童生徒の日本語能力を把握するために開発された「測定基準(ものさし: scales)」です。今回の研修では、①JSL バンドスケールを学び、②JSL 児童生徒のことばの力を把握する観点を考えます。また、③JSL バンドスケールをもとにした教材作成、議論を通して実践のデザイン力を養います。

日時: 2014年6月29日(日) 10時~16時

会場: 早稲田大学 早稲田キャンパス

<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

地下鉄東西線早稲田駅, JR 他高田馬場駅よりバス

講師: 川上郁雄氏 (早稲田大学大学院日本語教育研究科教授)

アシスタント: 森沢小百合氏 (学習院大学), 人見美佳氏 (目黒区教育委員会日本語教育コーディネーター)

コーディネーター: 岡本能里子, 菊岡由夏 (教師研修委員)

対象: JSL 児童生徒に関する仕事・活動をされている方・研究をしている方, 外国に繋がる児童生徒に関心のある方々

定員: 50名

受講料: 5,000円, 日本語教育学会員 4,000円, 大学院生 3,000円

事前課題: 下記の文献を読んできてください。

川上郁雄 (2008) 「移動する子どもたち」のプロフィেশンシーを考える—JSL バンドスケールから見える「ことばの力」とは何か 鎌田修・嶋田和子・迫田久美子 (編) 『プロフィেশンシーを育てる—真の日本語能力をめざして』 (pp. 92-109) 凡人社

内容: 予定のため変更することがあります。

10:00-12:00	・ JSL バンドスケールの基本的考え方 ・ JSL バンドスケールの使い方—教育現場での実践例—
12:00-13:00	昼食休憩 (60分)
13:00-15:50	・ WS①教材をどう作るか ・ WS②実践をどうデザインするか
15:50-16:00	まとめ, 質疑応答

6/15
締切

◆申込方法◆

参加申込書を学会ホームページ <http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm> からダウンロードして、メール添付または FAX でお送りください。メール応募の場合、題名は「JSL バンドスケール・ワークショップ申込」としてください。申込書が到着次第、折り返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は6月15日(日)。定員になり次第、締切日前でも募集を終了します。

<注意事項>

申込書を送っても学会からの返信メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日の9~18時です。週末や夜間のメールへの対応は翌日以降となります。なお、本募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。また、応募書類は返却いたしません。

◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会
教師研修委員会事務局
〒101-0065 東京都千代田区
西神田 2-4-1 東方学会新館 2F
TEL : 03-3262-4291
FAX : 03-5216-7552
E-mail : kyoshikenshu@nkg.or.jp

~講師からのメッセージ~ 川上郁雄氏(早稲田大学)



ことばの力は、テストの中ではなく、実践の中で見えてくる。これが、JSL バンドスケールを10年間実践してきた結論です。実践者が自らの「ことばの力」観を問い返し、子どものためのことばの実践をどう作るか、ともに考えていきたいと思えます。

【川上研究室ホームページ】 <http://www.gsjal.jp/kawakami/>

【日本語教育学会教師研修委員会宛】メール kyoshikenshu@nkg.or.jp FAX 03-5216-7552

「JSLバンドスケール・ワークショップ」(2014年6月29日)

参加申込書

氏名	(漢字) (ローマ字)
所属・職名	所属： 職名：
会員種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員 [No.] <input type="checkbox"/> 大学院生
住所	〒
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。
<p>1. 受講動機を簡単にお書きください。 ※文字数等は問いませんが応募用紙全体がA4, 1枚に収まるようお願いいたします。</p>	
<p>2. 日本語教育経験を簡単にお書きください(機関名, 期間, 対象者, 授業科目等)。 ※日本語教育経験年数 () 年</p>	
<p>3. この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> (1)学会からのメール <input type="checkbox"/> (2)その他からのメール () <input type="checkbox"/> (3)学会ホームページ <input type="checkbox"/> (4)学会からのチラシ <input type="checkbox"/> (5)学会誌『日本語教育』 <input type="checkbox"/> (6)友人・知人 <input type="checkbox"/> (7)大学・日本語学校等機関 () <input type="checkbox"/> (8)その他 ()</p>	
<p>4. 当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。 該当するものに☑をつけてください。 →研修当日の撮影を <input type="checkbox"/>承諾する <input type="checkbox"/>承諾しない</p>	

以上